

本年完了しますが、道路、緑地、持家新築、公営住宅の整備などにより、住みよい住環境地帯が完成されつつあります。

教育文化の向上施策につきましては、都留市が文教都市をめざし城下町として発達してきました。古い歴史を持つまちでありますので、最も大きな課題であります。

義務教育施設整備は順調に進展し、都留一中体育館は完成し、禾二小校舎はまもなく完成、引き続き体育馆を建設するとともに、盛里地区の学校整備計画を樹立します。

社会教育、社会体育を盛んにし、着々と文教都市の形態を整えておりますが、教育界に広く貢献している都留文科大学がその柱となっておりました。

文科大学は、昨年開学二十周年を迎えましたが、そのシンボルともなる本部棟もほぼ完成し、教授陣の充実、市民との密接な交流などにより、名実ともに全国に誇る学園のまちが実現しようとしております。

六十一一年山梨国体には、当市はバスケットボール、軟式野球の会場となります。また、「市民皆体育」の体制として、「市民皆体育」の拠点として、さらに文科大学を中心とする学園のまちづくりの一環として、「総合スポーツ公園」を年次計画により完成すべく準備しておりますが、施設内容は「十五へクタールの敷地にあらゆる競技のできる

る施設を配備し、市民スポーツの殿堂を築くとともに、市民憩の森、市民美術館も併設したいと思いま

すまた、私たちの歩んできた郷土の歴史を明らかにし、市の将来の

发展と市民文化の向上を期するため、市史編さんを進めます。

農林業の振興施策につきましては、農村総合整備モデル事業を中心山村振興対策事業、新しい村づくり事業、東桂地区を対象とした新農業構造改善事業などを強く推進します。

生活改善センター（公民館）の建設は、宝地区はまもなく完成し、本年から来年にかけて盛里地区に建設します。

また、市内八か所に農村公園を順次設けるとともに、農道、林道の整備も進めます。

活力ある商工業の振興策につ

きましては、まず事業者の自助努力が最も肝要であり、加えて関係機関の適切な指導による技術の向上、企業の体质改善が必要であります。

織維産業については、夜具地や座布団地の伝統的な識物产地として製織技術は著しく進歩してはおりますが、技術開発、有効な設備投資を進めて、産地として将来の展望をきめなければなりません。機械金属工業も着実に発展し、

その製品出荷額は市産業の中心的な存在となっていますが、なお設備の近代化など振興策の余地は多くあると思います。

商業面については、大型店進出

も確実でありますので、業界の近代化対策など業界自らの革新と地域に密着した商法を考えなければなりません。産業会館

産業会館の建設については、建設委員会を発足して、建設計画を具体化してまいります。

以上、年頭にあたり抱負の一端を申しあげましたが、私たちの「ふるさと都留」は私たちの手で育てるべきではありません。

ふるさとを見直し、その将来を考えるかたとして、本年は「ふるさとカレンダー」を作り、皆様のお宅にお届けしました。

来年からは、皆様のアイデアにより、皆様の手で作っていただこうことにしております。

都留市をさらに身近なものとして見つめていただけ幸いです。

さて、一昨年は長期総合計画を策定しましたが、この中であらゆる施策を十分吟味し、昭和六十年における市勢の望ましい水準を明らかにして、これに到達するため万全を期したいと考えます。

都留市にとって、一九八〇年代は躍進の時代となるよう全力をあげて取り組むことをお誓いします。

皆様のあたたかいご支援ご協力ををお願いして、新年のあいさつといたします。

## 宝南簡易水道完成！



送水ポンプのスイッチを入れる 高部市長

計画給水人口は、四〇〇人で、

総事業費約五千四百万円を投じてあります。

式では、高部市長が「この施設の完成は、地区の住民の長い間の念願がかなつただけでなく、地域の発展につながるものであります」

とあいさつし、協力者に感謝状を送り終わりました。式に参加した

加畠自治会長は「これで、分家する場合も水の心配がなくなりまし

た」と話していました。

川をきれいにしよう  
川は生活のオアシス  
市政モニター